

柏南ロータリークラブ 1月号

Rotary
District 2790



世界に希望を生み出そう

職業奉仕月間

第1963回 2024年1月9日(火曜日)

新年例会

第1964回 2024年1月16日(火曜日)

通常例会

第1965回 2024年1月23日(火曜日)

GV公式訪問 鶴沢和広 ガバナー来訪



鶴沢ガバナー 中山ガバナー 高田ガバナー
補佐 補佐幹事

2790地区
寺嶋ラーニング
ファシリテーター
(ビクター)

柏神社で参拝、
吉里 柏別邸にて新年会をしました！



甲龍の幕開けに恒例の柏神社
に集合、元旦の能登半島地震の
発生による不安と新年の期待が入り混じり、
いつもと違う空気が流れているのを感じました。



懇親会場に移動すると和気藹々に全員が
近況報告し、終わる頃にはいつもの一体感。

更なる飛躍を誓って解散しました。



第2790地区
グローバル補助金プロジェクト委員長
栗原洋一様



鵜沢和広 ガバナー来訪



鵜沢ガバナーと本音の意見交換会を行うことができました。





補助金管理セミナー

補助金管理セミナーが開催され、大きな会場は活気に溢れていました。地区補助金、グローバル補助金、補助金審査会の3本を軸に説明が展開されました。

また、事例紹介として4クラブの活動が紹介され、パネラーとして当クラブの小林亘会員がケニア出産医療施設プロジェクトについて報告をされた。

グローバル補助金を利用した人道的国際奉仕活動の事例は、地区でも貴重で、行動するロータリアンに貢献できたようです。





— 会長挨拶 —

自身の職業の特性を活かして社会に奉仕する人は大勢いますし、櫻井会員のように今回の能登半島の震災の支援に携わる方もたくさんいます。ただ、職業奉仕ってなんかもったいないな？とふと感じました。クラブ単位でこうした活動をしないと「ロータリークラブの方」が支援活動をしているということが分からないということです。ロータリークラブや自社の名を売ろうとしてやっているわけではないのですが、ロータリアンとして職業奉仕ができたということが「自分の中だけで完結」してしまっていて、「もったいないな」と感じました。

今までのロータリーにあった「陰徳陽報」という考え自体はとても好きで当社のバリューでもあります。ただ、毎年30万円近い会費を納め、ロータリークラブ、ロータリアンとして活動していて、自身の職業を生かした奉仕活動が役には立っているのだろうけども、日の目を見ることはないというのは「もったいない」と思うのは私だけでしょうか。そこでみなさんが行った「職業奉仕」を冊子にまとめることをしてもいいのでは？と考えた次第です。

会員同士が顔を合わせる例会が大事なのは言うまでもないのですが、ロータリーとしての奉仕活動ではない、各個人の職業を活かした活動をしている人が多くいると思います。そうした活動を会員同士で称賛するのがエンゲージメントを育むことであり、そうした賞賛の積み重ねが結束力の強いクラブにつながると思っています。

1月 例会出席率

76.54%

例会日：火曜日

【例会場】

キャンパスプラザ 会員会館
(廣池学園キャンパス内)

TEL:04-7173-3558

FAX:04-7173-3550

事務局：〒277-0011

千葉県柏市東上町7-18

柏商工会議所会館505

TEL:04-7166-3963

FAX:04-7186-6255

Email:kmrc@kashiwaminami.rid2790.org